



第5号

発行 宝木地域づくり推進協議会

宝木地域コミュニティセンター内

(事務局)

〒320-0065 宇都宮市駒生町3364-29

(宝木小学校内)

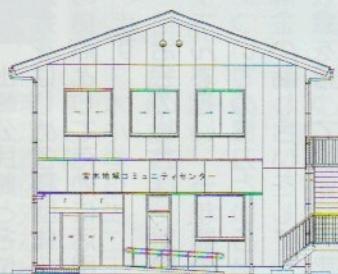
TEL・FAX 028-624-0531

(印刷) DTP de-co

(題字 北條信男 書)



▲記念庭園（新コミセン建設予定地）



▲新コミセン完成予想図

新しい宝木地区コミュニティセンターの設計は、種々協議を重ね三回の建設委員会を経てこのほど確定しました。建設場所は、宝木小学校校庭東の体育器具庫の北、正門付近から記念庭園にかけての二階建ての建物となります。これにより正門の北にある通用門を拡幅して新しい正門とし、毎年見事な花が見られる枝垂れ桜の部分の植え込みは残し、身障者専用駐車場を設置し建物の北がコミセンの出入口になります。東の道路からは、身障者専用駐車場スペースしかありませんので、徒歩では出入りできますが、転車や自動車はこれまでどおり北門利用となります。

宝木小学校PTAの手による記念庭園を建設地としたことにつきましては、歴代のPTA役員の方々と校長先生をはじめ学校の地域の活動に対する深い理解と

温かいご配慮に厚く御礼申しあげます。

コミセンの改築にあたっては、建設地を宝木小学校敷地内との市の方針から、当初、①現地改築、②体育館の南、③校庭東の体育器具庫と合築の三案で検討しました。その結果、現地改築は電気設備など地下埋設物が多く多額の費用を必要とすること、体育館南は校舎と接近し双方の学習に支障があることで、校庭東が適当となりましたが、体育器具庫との合築では部屋の配置に難があり別に建築することが最良ということから、冒頭の場所に決定したところです。

今後は、記念庭園の整理と整地をして、九月頃建築工事に着工、明年二月頃完工、四月供用開始と当初の計画どおりに進捗するものと思われますが、工事期間中は学校はもとより近隣の方々に多大な迷惑をお掛けしますがご容赦ください。

宝木つみせん改築 建築計画が確定



▶枝垂れ桜

市長表彰受賞 宝木こぶしの会

このたび私たち「宝木こぶしの会」は、十一月二十三日開催の宇都宮市民福祉の祭典において、「ふれあい会食調理ボランティア」として宇都宮市長より表彰を受けました。

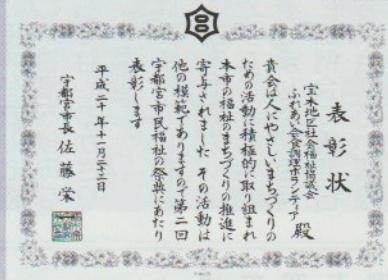


「宝木こぶしの会」は、結成以来十四年になるボランティアグループで、ひとり暮らし高齢者に栄養面を考慮した会食会を月一回実施しており、地元小学校との交流会食も年数回企画するなど、高齢者に楽しみと生きがいを与え、高齢者が地域においていきいきと生活をおくる手助けをさせていただいております。その活動に対し今回表彰されたことで、会員一同大変喜んでおります。

また、会の活動としては、老人ホームの清掃奉仕や地域のさまざまな行事に参加協力するほか、女性として主婦として教養を高める研修も行っております。

これを機に一層研鑽に努め高齢者に喜んでいただけるような旬の素材を取り入れた調理をしていただきたいと思います。

(宝木こぶしの会会長記)

平成21年11月23日
宇都宮市長佐藤栄

宝木こぶしの会
ふれあい会食調理ボランティア
貴会は人々をよりよくする
ため活動に積極的取組まれ
本市の福祉まちづくりの推進に
寄与されたその活動は
他の模範あらわすもの
宇都宮市民福祉の祭典あり
表彰します

自治会めぐり④

宝木二一一自治会

私たちの自治会は、健康的な森の西側で、東北自動車道の西にも少し区域があります。旧国本村字山崎という集落で、宇都宮市に合併した際、宝木町二一一という町会になりました。その後世帯数が増え、現在は五百世帯を越えました。

旧公民館は、敷地が狭く建物が十五坪ほどしかなかつたので、東北自動車道西側で少し不便な場所ですが、町内の

自治会の総会は、新旧の班長さんで行い、一年間の行事についての協力といいろいろの集金の話し合いをしてから懇親会を行っています。また執

行部では、二か月に一回は町会の運営について意見交換を行い、各種団体の役員の方とは新年会を行

い話を聞くようにし

ています。

町内にはまだ所々

に山林があり、出来

るかぎり明るくし防

犯に努めています。

宝木地区体育祭に

は、体育委員と育成

会が主体となり選手

を集めますが、町会

としては班長さんに

ご飯を炊いてもらいま

す。

宝木地区体育祭に

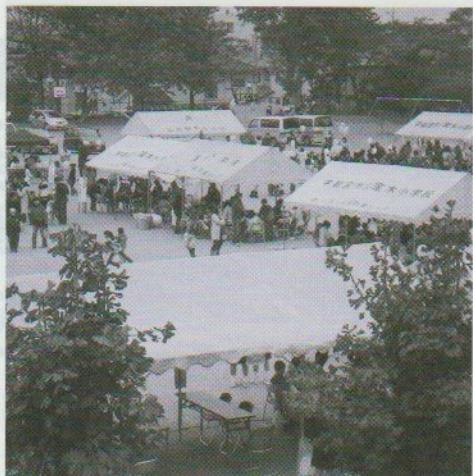
は、体育委員と育成

会が主体となり選手

を集めますが、町会

としては班長さんに

ご飯を炊いてもらいま



2008.3

「宝木まつり」

大盛況

平成二十年度の「宝木まつり」は、十一月九日（日）開催しました。住民の活発な交流と地域の活性化を図る目的で平成十六年に実施した「宝木まつり」も五回目を数え、年ごとに着実に充実したまつりの内容で多くの人出で賑わいました。好天にも恵まれ、日頃の学習の成果を見せて聴かせてくれた書画や演奏に堪能し、福祉、健康、リサイクルなどのコーナーでは相談や体験をし、地元産の安い野菜を買い、各自治会から出店した屋台で舌づつみと、会場の宝木小学校に二千五百名が集いました。

また地区外からも、会場への道順や最寄りのバス停など数人から事務局へ問い合わせがありましたのに驚きました。

ただあまりの好評で多めに用意した食材も底をつけ、すべての屋台が一時間も早く午後一時頃に完売閉店となつたことは、残念というか嬉しい悲鳴をあげたといひでした。



宝木地区防災会は、三月八日（日）宝木小学校で地区住民二百八十名の参加をえて、防災訓練を行いました。いざというときにふだんの訓練が役立つには、繰り返し繰り返し行うことが必要であり、特に今回は、校舎屋上に避難した住民をハシゴ車で救出する訓練を見学しました。



平成21年度 行事予定

- 敬老会 九月十三日（日）
- 体育祭 十月十一日（日）
- 防災訓練 二月二十八日（日）
- 宝木まつり 十一月二十二日（日）
- 宝木小学校

防災訓練実施

《たからぎ木曜講座》

宝木地区一般成人を対象とした講座で、今年度は13回実施しました。「能」入門・年金や時事問題の講話・県庁と美術館の見学・郷土食の「しもつかれ」を作りました。館外研修では秋の黒羽・馬頭路を廻り、歴史や文学にふれ親睦を深めました。



館外研修



「能」入門

講座案内



中央卸売市場の見学



県庁見学

《あいあいスクール》

宝木地区小学生の保護者を対象とした講座で、10回実施しました。運動・料理・手芸や「食の安全について」のお話を聞きました。

また、県庁見学や夏休みには親子で中央卸売市場・JA東部選果場の見学をしました。

《わくわく広場》

宝木地区小学3~6年生を対象にした講座で、地区の育成会役員の方々にも指導・協力いただき、7回実施しました。宝木用水沿いのハイキング・不思議な科学遊び・ペットボトルロケット作りなどをしました。また、今年度初めて、お年寄りとの交流会食を計画し、昔遊びをした後、カレーライスと一緒に食べ楽しい時間を過ごしました。



科学あそび



お年寄りと交流会食



宝木用水ハイキング



私たち「宝木あゆみの会」は、早いもので今年度で創立二十周年を迎えました。昨年十一月に記念事業としてキエフオペラ「トゥーランドット」を鑑賞し最高の舞台芸術の自己研鑽をしました。

振り返りますと、社会情勢が大きく変わり、三年前の今市の悲痛な児童の事件、そして次々に起ころる子供たちの被害が、大きな不安を広げています。そのようななかで、私たちは二十二年続いた木曜日の放課後の読み聞かせの活動は、現在学校の協力をえて木曜日の昼休み一時十五分から一時二十五分の間の活動に切り替えて実施しています。

また、毎年宝木小一・二年生児童に人形劇鑑賞会を行うほか、年に数回各生涯学習センター、わかくさ養護学校や

私たち「宝木あゆみの会」は、早いもので今年度で創立二十周年を迎えました。昨年十一月に記念事業としてキエフオペラ「トゥーランドット」を鑑賞し最高の舞台芸術の自己研鑽をしました。

リハビリセンターなどで人形劇や読み聞かせの子育て支援活動を続けております。今年から宝木ボランティア活動に多数人の会員が協力参加しましたが、仕事や家庭の事情と年齢も高くなるなどさまざまな活動が思うように出来なくなっています。今後とも会員が協力し合って出来るだけ続けて行きたいと思つております。



(宝木あゆみの会会長記)

編集後記

「宝木だより」も回を重ね、宝木地区の行事や各種団体・自治会の熱心な活動の様子をお伝えしてきました。地区の皆様が地域活動に、少しでも関心を持っていただけたならば幸いに思います。

「宝木あゆみの会」活動